

A group of approximately 40 children and adults are posing for a group photo in a lush green forest. They are arranged in several rows, some sitting on the grass and others standing. In the background, there is a traditional thatched-roof structure, possibly a festival float or a traditional building. The trees are dense and green, suggesting a park or natural area. The overall atmosphere is bright and cheerful.

**ほくらのキタダン  
～里山を守る～**

**金沢市立田上小学校**

# 田上小学校

- 金沢駅から車で約25分
- 近くに **大きな道路** が通る



- 約20～30年前は田畑だった

# キタダン

田上小学校から徒歩約10分

金沢大学の敷地内にある棚田

漢字で「北谷」と書く



# 角間の里山

- 「キタダン」に続く里山
- 金沢大学のキャンパスにつながる里山
- 色々な生物が生息する



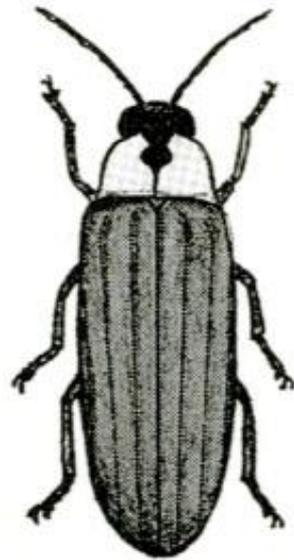
# 里山の生き物

ゲンジボタル～クロサンショウウオ

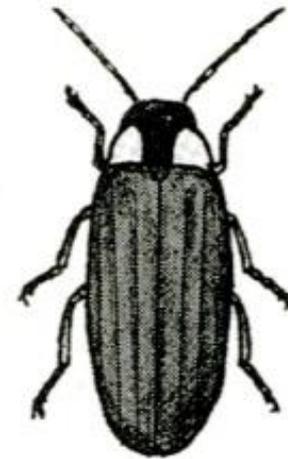


# ～ホタルについて～

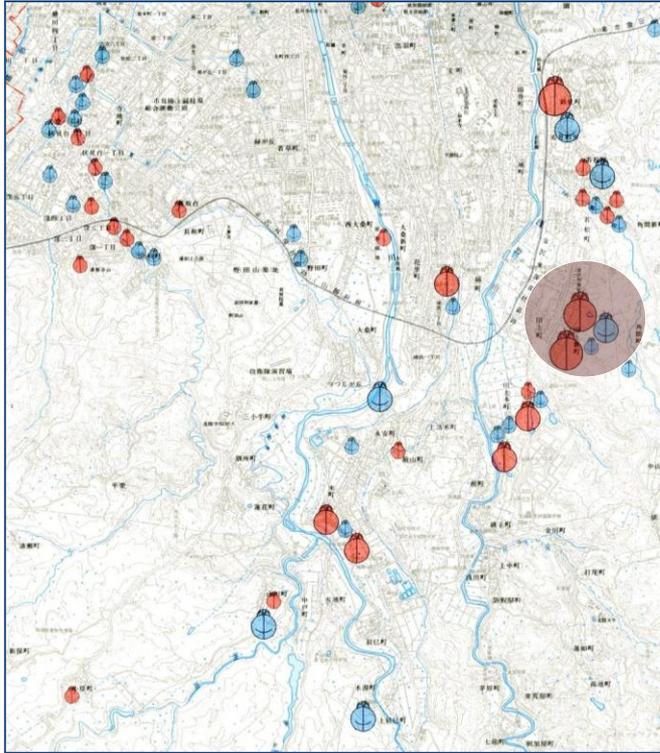
ゲンジボタル



ヘイケボタル



# キタダンのヘイケボタル



- 金沢市の一部の「ホタルマップ」
- ● はキタダン周辺  
赤色のホタル ヘイケボタル  
青色のホタル ゲンジボタル

金沢市でヘイケボタルがここまで  
居るのはキタダンだけ

理  
由

# 無農薬だから

キタダンでは「60年前」の米作りのやり方



草むしりが手作業 & 無農薬



食物連鎖により生き物の生活環境が安定



生き物が**安心**して**生きる**ことができる

# クロサンショウウオ

山地の水田がある森林に生息する 夜行性

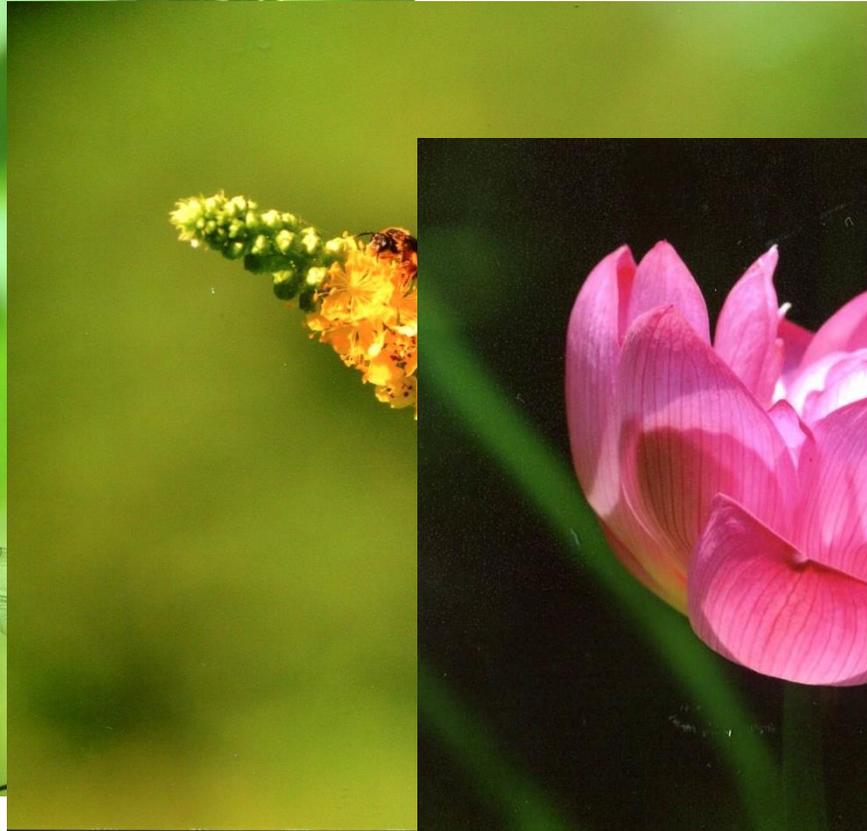
最近は数を減らしている

その理由は...

→ 農薬などで環境が悪化

キタダンでは、増えている↑

# その他の里山の動植物



# ぼくらキタダンの生き物たち

## 登場人物

- ・田上っ子
- ・クロサンショウウオ
- ・ヘイケボタル
- ・ゲンジボタル



里山は、自然と人間の共存の象徴です。  
では、その里山を守っていくために、  
私たちには今何ができるのでしょうか。



# 里山で私たちがみた大自然



# 里山での米作り ～無農薬～

## 60年前の米作りを体験します

5月 田植え 木製の道具を使う

7月 虫送り 「五穀成就稲虫送り」と  
いいながら、太鼓をたたく

10月 稲刈り 手作業で一株ずつ刈る

12月 もちつき 大人の方の手伝いもあり、  
自分たちで育てたお米を  
おもちにし、  
おいしくいただきます。

# 型枠を使っている様子



# 米作りにも、木材を使う

例

型枠(田植えの際、植える間隔をつける道具)

鎌の持ち手

鍬

木が環境をつくる  
から、お米が育つ



# なぜキタダン・里山, 荒れ果てた？

大学の工事が始まる



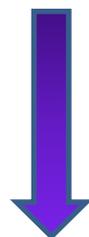
水の流れが変わった



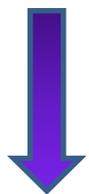
キタダンに水が流れなくなってしまった

再び、あの里山とキタダンにするには—

---



間伐を行う



間伐した木材を利用

間伐した木材を利用することが里山を守っていくことになる

# 間伐した木材の利用方法

- 木造建築の家
- 鉛筆
- ノート
- 割り箸
- 机・椅子
- バイオマスエネルギー
- 燃料・製紙原料
- 木質ボード原料



など

# この経験を通して

米作り・・・人と里山とが共存する  
すばらしさ

里山調査・・・「生物多様性」の大切さ

自然や生物のことを知ってもらい、人と自然との共存に関心を持つ人を増やしていきたい



## 参考文献

- いしかわの生きもの豊かな里山づくり  
　　<平成24年度モデル地区用ガイドブック>
- 金沢ホテルマップ平成26年度版
- 金沢大学「角間の里山自然学校」里山マップ
- 林野庁ホームページ